

# しょうわ 議会だより

第 28 号

平成16年

1月25日

12月定例議会



はばたけ  
青春!!



▲20歳の自分あての手紙は…

## 第46回昭和村成人式

1月11日に昭和村公民館で行われ、新成人  
103人が出席しました。

### おもな内容

合併問題特集 **自主自立を決定!!** (2~3ページ)

臨時会・12月定例会で決めたこと

ほか議会のうごき (4~8ページ)

一般質問 **村の姿勢を問う** (9~11ページ)

三常任委員会 **研修報告** (12~13ページ)

読者シリーズ

**聞きたい 知りたい みんなの声** (14~15ページ)  
議会に臨む

# 自主自立を決定!!

12月11日、昭和村議会の全議員で構成する市町村合併問題対策特別委員会が、開催され協議。記名投票採決の結果、自主自立を決定し、同月15日、定例議会最終日の本会議において委員長報告がされました。

り日沢村・利根村・片品村で任意合併協議会準備会を発足し、昭和村・川場村の2村参加についても受け入れの窓口が開かれる。

わせ会議開催される。  
(白沢村・利根村・片品村)

11月14日(金)

利根沼田地区西部4市町村法定合併協議会設立される。(沼田市・月夜野町・水上町・新治村)

## 経緯

9月22日(月)

特別委員会

利根沼田法定合併協議会への不参加を決定する。

9月30日(火)

特別委員会

昭和村は近隣自治体との小さな合併を目指し、努力することに満場一致で決定する。

10月6日(月)

特別委員会

東部5カ村合併打ち合わせ会議で白沢村・利根村・片品村については東部5カ村で、昭和村は近隣自治体との合併、川場村は自主自立との3つの方向となったため持ち帰り検討となる。

10月9日(木)

特別委員会

昭和村は、近隣自治体との合併(川場村・白沢村との3村による枠組み)を進めることの意味を確認を行う。

10月10日(金)

特別委員会

東部3カ村(白沢村・利根村・片品村)による合併打ち合わせ会議による

9月25日(木)

東部5カ村による合併打ち合わせ会議(首長による協議)開催される。

10月1日(水)

特別委員会

東部5カ村合併打ち合わせ会議で任意協議会の事務所設置場所、職員について協議される。



▲敬老会

11月19日(水)

特別委員会

昭和村は東部3カ村任意合併協議会準備会への参加について協議。結論が出ず、継続審議となる。

11月28日(金)

白沢村に、本村の村長、

議長、副議長(特別委員会委員長)が任意合併協議会準備会に参加の申し入れをする。

11月26日(水)

特別委員会

東部3カ村任意合併協議会準備会への参加について、賛成多数により参加することに決定する。

12月1日(月)

白沢村・利根村が西部

4市町村法定合併協議会に参加の申し入れをする。東部3カ村任意合併協議会準備会は解散される。

12月5日(金)

特別委員会

東部3カ村任意合併協議会準備会解散に伴い、

る。  
片品村・昭和村は態度を保留とする。

12月2日(火)

東部3カ村任意合併協議会準備会解散の旨報告を受ける。

12月11日(木)

特別委員会

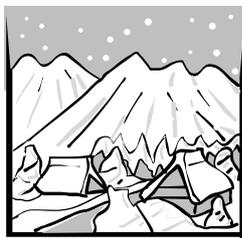
昭和村の今後の方向を協議。結論が出ず、継続審議とする。

12月15日(月)

12月定例会最終日の本会議で、自主自立でいく旨、合併問題対策特別委員会の委員長報告をする。



▲「花いっぱい運動」のコスモス畑



## ● 委員長からの報告 ●

新議員になって一年、全議員が市町村合併問題については真剣に取り組んできました。

9カ市町村の任意合併協議会で協議をし、また近隣の村の議員との話し合いも重ねました。また、合併した市、しない町の視察や、合併問題に関する講演会にも何度も参加いたしました。

そして、市町村合併問題対策特別委員会では、特に利根沼田地区9市町村任意合併協議会解散後は、熱の入った議論を重ねてきました。夕方5時を過ぎ、会議時間を延長し、食事もとらずに協議をしても結論が出ずに、継続審議にしたこともありました。その結果、昭和村は町村合併はせずに、「自主自立」で村の将来を考えることに決定しました。

昭和村は大型の予算を使う下水道事業や、赤城西麓事業を中心とした農業基盤整備、又教育施設や道路等の整備が他の市町村より進んでいます。濃い水と薄い水を混ぜれば淡くなります。先人が努力を重ね、築いてくれた昭和村を私たちは守り、さらに発展させることに決めました。

「自主自立」ということは、自分たちの村のことは自分たちだけで決められるということ。多数決、数の暴力にあうこともありません。時代的背景の中でいろいろ厳しい面もでてきますが合併してもしなくても避けて通れない問題はたくさんあります。

今は「米百俵」の精神で、村当局と議員、そして村民皆さんで、力を合わせ活力ある村づくりをしようではありませんか。今後の皆さんのご協力をお願いしまして報告とさせていただきます。

市町村合併問題対策特別委員会

委員長 澤 浦 譽 由

# こういうことが 決まりました

## 11月臨時会

11月26日（水）午後2時から開催した第8回臨時会では、発議1件、専決処分事項の承認2件、人事案件1件、特別職・教育長・職員との給与に関する条例改正を含む議案5件が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

### 議員発議

#### 議員報酬を平均

### 5%減額

昭和村議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について（全員賛成）

議員の発議により、経済の不況・景気低迷の現況を真摯に受け止め、今後の村づくり・住民福祉の向上のため、自らの報酬を減額することを提案しました。

平成15年12月分の報

### 条例改正

#### 村長・助役・教育長の 給料5%引き下げ

昭和村特別職の職員で非常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について（全員賛成）

昭和村教育長の給与、勤務時間その他の条件に関する条例の一部を改正する条例について（全員賛成）

平成15年12月1日から特別職三役及び教育長の給料月額が一律5%引き下げられました。また12月期末手当も同年中の4月からの年間給与の調整を行うため減額支給となりました。

#### 昭和村職員の給与

### 1・01%引き下げ

昭和村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について（賛成多数 反対1）

人事院の平成15年度における公務員給与の改定勧告がなされました。そこで昭和村職員の基本給等も減額となりました。

### 人事・その他

昭和村固定資産評価委員の選任同意について（全員賛成）

村営昭和土地改良事業（農業用道路）の施行について（全員賛成）  
和解及び損害賠償額の決定について（全員賛成）

### 補正予算

専決処分事項の承認

平成15年度昭和村一般会計補正予算（第3号、第4号）（全員賛成）

おもに第43回衆議院総選挙に伴う交付金、事務費を増額補正。

またキャノン電子株式会社から2千16万円の寄附により昭和村芝生公園内の施設整備を行うジェットスライダー等の施設整備工事費等、歳入・歳出の増額補正となりました。

# 12月定例会

12月定例会は、12月10日（水）から15日（月）までの6日間の会期で開催しました。

農業委員会委員の議会推薦、人事案件1件一般会計補正予算を含む議案5件が上程され、すべて原案のとおり可決しました。議会最終日の一般質問では、3名が登壇し、村の姿勢を問いました。

## 農業委員に5人を推薦

昭和村農業委員会委員が平成15年12月13日をもって任期満了を迎えるにあたり、改めて次の5人の方を議会推薦し、決定しました。

（全員賛成）

- ・加藤 秀光氏（宿）
- ・古澤 昇氏（松之本第二）
- ・横坂 京子氏（大堀）
- ・倉澤 恵子氏（宮貝戸）
- ・高橋 文子氏（赤城原第二）

## 人事・その他

### 固定資産評価審査委員会

委員に飯塚氏が再任

昭和村固定資産評価審査委員会委員の飯塚勝二氏（常木）が平成15年12月20日で任期満了となることから、このたび、再選・再任されました。

## 村営追分土地改良事業

「区画整理」実施へ（全員賛成）

赤城高原果樹生産組合が所有していた果樹園及び宅地、4・8ヘクタールが十数年間耕作放棄地となり、隣接農地に甚大な被害を出していました。その土地が、競売に出され、地元農家9名で組織する大日向農業振興組合が取得し、優良農地として還元される予定です。これは補助率75%の国庫補助事業、農地等高度利用促進事業で周辺8・4ヘクタールの区画整理が実施されます。

## 補正予算

### 一般会計

おもに児童措置費（保育園入所児童の民間委託料）等によるもので、歳入・歳出それぞれ1千104万4千円を増額補正。（全員賛成）

### 特別会計

#### 国保会計

老人保健医療費の拠出金関係の歳入・歳出3千913万円の増額補正。（全員賛成）

#### 簡水会計

おもに平成14年度分消費税の確定申告に伴う還付金歳入・歳出64万2千円の増額補正。（全員賛成）

#### 介護会計

おもに平成14年度の実績に基づき一般会計繰入金金の精算で歳入・歳出1千294万5千円の増額補正。（全員賛成）

## 1月臨時議会

平成16年、年明け最初の第10回臨時会は1月9日（金）午後3時30分から開催しました。人事案件1件、承認1件、議案1件が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

## 教育委員会委員に金井氏

教育委員会委員 金井利司さん（赤谷）が任期満了に伴い、



選任されました。金井さんは、大河原小PTA会長及び、体育指導員を歴任されており、今後も昭和村の教育充実のため活躍を期待します。（全員賛成）

## 補正予算 一般会計

### キヤノン電子から714万円寄附

歳入については、おもに、キヤノン電子株式会社創業50周年記念にあたり、2月14日に開催されるウインターフェスティバルの花火代金としての指定寄附、歳出においては公民館・保健センターの暖房の熱源入れ替え工事によるもので、歳入・歳出4千214万円を増額補正するものです。（全員賛成）

## その他

平成15年度農業集落排水事業永井・入原地区汚水処理施設工事請負契約の変更について（全員賛成）  
7千140万円の請負額を7千162万500円に変更するものです。

# 常任委員会のごき

## 総務常任委員会

本委員会は、12月12日に開催しました。請願陳情の審査では前回から継続していましたが、生越清水地区の消火栓整備については、消防担当係と上水道係でよく検討して最良の方法での施行を実施することで採択としました。

昭和小PTAから昭和インター線アクセス道路森下交差点の信号機設



▲望郷ライン三峰山トンネル（工事中）

置要望については、既に公安委員会に要望済みであり、また、横断旗設置の要望についても手配済みとのことであります。昭和中PTAから通学の安全性確保のため、街路灯設置の要望書については、各所審査の結果、集落をつなぐ路線でどちらの区に帰属するかかわらない箇所については、村が設置する旨確認し、全会一致で採択としました。



▲望郷ライン

た。

審議終了後、利根沼田農用地総合整備事業で行っている、愛称「利根沼田望郷ライン」の全線視察を行いました。一部工事中区間を残しています。が、全線開通後は農業用道路としてだけでなく、都市住民との交流、地域の活性化、観光農業等々多くの活用が期待される道路となることでしよう。

## 民生文教常任委員会

12月10日、役場会議室において委員全員、議長、説明者として村長、助役、教育長、関係課長、係長の出席により開催し慎重審議を行いました。

大河原小学校区内に学童クラブの設置について

のお願いでは、保護者からの強い要望もあり、実現に向けて可能かどうか現地精査しました。現校舎の東側に新設で平成16

年度事業での国庫補助を受けた旨の説明が当局よりあり、学童クラブの始まった経緯、子育て支援を行っていく村の姿勢とも合致することから、全会一致で採択としました。

介護保険制度の充実を求める請願では保険料と利用料の支払い困難な高齢者に対し、生活弱者への配慮も必要との意見が



▲学童クラブ設置の現地調査（大河原小）

あり、村当局でも利用者減免に関しては16年度に向け試算中との回答がありました。介護サービス基盤の整備充実については、特養ホーム設置の受け入れや、福祉協議会等においても積極的に事業展開している事をふまえて採択しました。



▲大河原小学校

## 産業建設常任委員会

本委員会は、12月11日に開催しました。

各付託案件について現地調査のうえ、慎重審議を行いました。

村道天神上阿曾線天神

沢4号橋及び、村道下阿

曾天神線天神沢5号線の

拡幅工事のお願いについ

ては、橋梁自体の幅員が



▲鎌沢地区 斜面湧水管所



▲貝野瀬地区 宮田宮原線

狭く、農業機械の大型化対応できない状況であり、全会一致で採択しました。鎌沢地区、東京電力(株)伏田発電所導水路下の斜面湧水の調査及び防災対策工事の実施について、住宅が4軒あり湧水対策も必要とし、施工に関しては当局の判断に任せることで全会一致で採択しました。

宮田宮原線道路拡幅工事のお願いについては、旧来の道路ですが、手入れが行き届いており、このまま保存しては、との意見もありましたが、幅員等が狭く、陳情の趣旨も理解できるので全会一致で採択しました。中小企業の営業と、生活を守り、地域経済振興をはかる請願については、事業者登録のない個人事業者にも役場からの事業発注をということで「小規模工事希望者登録制度」をお願いしたいとの趣旨であり、既に当局においても試験的に実施しているものもあるとのことであり、趣旨採択としました。

ち、東小PTAからの要望について、村道古宮道分線では、東小学校へ通学する歩道の上に積雪時には竹がしななって通行できない等のことから何らかの対策を考える必要があります。また、南小PTAからの要望については、現地精査に基づき検討し、危険箇所と想定される場所は安全対策を施行し、損傷箇所は補修していくということで全会一致、採択しました。

### 緊急

#### 積雪による被害額

3千406万5千円

12月20日から降った大雪により、村内でもパイプハウス、49棟の倒壊等、大きな被害が出てしまいました。

産業建設常任委員会では、12月22日に委員会を開催、積雪被害の被害にあわれた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

現地調査を行いました。

また、1月9日の全員協議会において、産業課から被害報告をうけ、大破したパイプハウスの片づけ処理等に関して早急な対応をお願いしました。

### お知らせ

農作業上、早期に取り片付けを必要とする方を対象に降雪による倒壊したパイプハウスの収集が実施されます。

(詳細については役場産業課 ☎24-51111 まで)

平成16年2月9日(月)

10日(火)

午前9時～12時

午後1時～3時

収集場所

J A利根沼田こんにゃく荒粉加工所(久呂保予冷庫の隣)

※4月の中旬にもう一度実施される予定です。

# その他のうごき

## トラクター盗難防止の夜間パトロールを実施

村内で今年春から秋にかけて、畑や倉庫等に置いてある中型トラクター（30〜40馬力）7台の盗難事件が発生しました。

村では、農業委員会が中心となり、10月下旬から11月末日まで夜間パトロールを実施しました。そこで、議会でも議員が3人1組で、12日間にわ

たり午後1時から明け方まで高原地区を主に人目につかない耕作用道路まで巡回しました。

皆さん、大切な個人の財産を守るためにも、離れた所にはできるだけ置かない様にし、鍵は必ず保管するなど盗難防止に努めましょう。



## 全員協議会から

平成15年11月26日開催



▲第一保育園建築現場  
だいぶできあがってきました。

### 第一保育園の

建築について現場視察をし、工事の進捗状況を把握しました。また、芝生公園建設の工事状況を現地にて担当課より、説明を受けました。



▲芝生公園の整地の状況

## オフトラック放送は

### 「昭和の森山荘 市民農園」構想

平成3年から「ふるさと創生1億円」を利用して放送を開局したオフトラックですが、今年で13年目を迎え、オフトラック装置、機械の老朽化により、故障、修理の増が懸念され、今後の見直しが必要であることや、10月に実施されたアンケート結果の報告を受けました。廃止か存続か、いずれにしても、住民への緊急の時の情報提供、安心して簡単に誰もが情報を得られるシステムが求められます。

これは、昭和の森山荘の安定的な利用者確保と遊休地の有効活用を図るため、山荘東側の山林1ヘクタールを活用して都市住民の農業体験・花菜園づくりの場としての市民農園を整備するものです。構想の概要説明を村当局から受けました。市民農園には都市農村交流と農業教育という大きな役割があり、人と土とのふれあいにより、情操教育や福祉を目的とした役割も期待されます。



▲倉淵村クラインガルテン

ここが聞きたい

# 村の姿勢を問う

旧東中学校跡地に現在、第一保育園建設中であり、また特別養護老人ホームの建設が予定されています。二つの大きな施設ができる・・・

## 既存のゲートボール場は残せるか

**Q** お年寄りが楽しんでいるゲートボール場があるが、現在地に残すことが可能か。また移転の場合には、移転先を確保していただけるのか。

**A** 村 長

この場所は、旧東中学校跡地であり、昭和インターチェンジ建設に伴う工業用地として計画されており、他の利用ができないことから、空き地になつていた場所の一部ですが、計画が実施される

使用できるか検討してま

いりましたが、第一保育園の駐車スペースが狭くなつてしまふことや、施設の出入り口付近にあることから、交通事故等も心配されます。これらの状況をふまえ、今後近隣地域への移転も含め、関係者との協議をして参ります。

## 旧東中の門柱の保存を

**Q** 私達を通つた東中学校の正門は尋常高等小学校・その前は兵舎のあつた名残です。第一保育園の建設により、正門をふさぐことなく、村の歴史的遺産として残していただきたい。

**A** 村 長

出入り口については、土地の有効利用と安全性を考慮し、第一保育園と特別養護老人ホームの間付近に移転し、共同の出入り口とする方向で計画を考えています。旧東中正門部分は埋め立てを行い、駐車場スペースとして活用したいと考えております。門柱の保存に

## 地域の水圧不足について

関して、出入り口の埋め立てにより、半分以上は埋まってしまうですが、外側からは門柱が見える状態で残していきたいと思つております。

**Q** 北部簡易水道使用地域で、滝寺・上系井地区の一般家庭の水道の水圧が少ないとの心配されるなか、二つの施設建設により、今後ますます水需要の増大が見込まれます。

そこで、水圧不足にならずに、最低基準値を



リアするだけでなく、他地域と同等の水圧で水道が使える事が本来の姿です。今後の、給水計画をお聞きしたい。

**A** 村 長

南内出・上内出地区については水圧が弱いとの問い合わせがあり、11月に7件の宅内水圧調査を実施いたしました。数字的にはすべて基準内でした。

しかし、今後、第一保育園の開園や特別養護老人ホームの開設が予定されているため、上系井の地区において、24時間の水圧測定調査を実施し、その結果をふまえ、生活に支障のない水圧を確保できるように努めてまいりたいと思つております。



石井清司議員

までの間に一時的にゲートボール場として使用していた場所です。引き続き





高橋幸一郎議員

## 村行政の民間委託について問う

### 村長の公約であるゴミ処理、給食センターの民間委託は？

査検討して、適切な方法をとることが肝要ではないかと思っております。

と協議をしながら、人件費削減等、施設の経済的な運営と利用率の向上に努めてまいります。なお、

**Q** 先般9月定例会において一般質問した温泉センターの運営について利用者の減少に伴い、独立で採算ができず、今後とも村負担金が増加することのことであります。あて

職で硬直化した運営組織では現在社会が求めているお客様のニーズにスピーディに対応することは、非常に困難な状態であると考えられます。より具体的な経営施策なり計画を示してもらいたい。

制度改正により指定管理者制度が導入され、3年間の経過措置の間には必要な条例を整備し、それに移行するか、直営で行うか選択することになります。

**Q** 昭和村における路線バス運行費補助金は、平成10年度で1千428万円に対して14年度決算額でみてみますと、1千962万円となり、534万円の増となっております。このように膨大な予算を投入してバス路線の運行に努めていますが、

岩本駅を昭和村の顔の駅と考え、朝夕の運行はもちろんのこと、昭和の森温泉センター、多目的総合運動公園等々、うまくバス路線に組み入れて、低料金でかつ、利便性の高い活用を考えたバス路線の組み替えを行えば、利用客も増えるでしょう。その村民ニーズを反映した運行は昭和村のコミュニティバスとして村民にも行政にもメリットがあり、村民からも認知されるものと思えます。空気を運んでもお金にはなりません、人を運ぶには知恵と勇気が必要です。

**A** 村長

利用者につきましては、モーターゼーションの進展や少子化の進行により、年々減少しており、過去5年間を比較しましても、3路線を合わせて

も5万3千923人減少しております。ご提案の完全民営化また、コミュニティバスの導入につきましては、今後、民間会社の参入の可能性を探るとともに、村としましても運行経費削減による効率的な移動手段の確保について様々な角度から検討していきたいと考えております。

**Q** ゴミの処理費については平成14年度では1億5千万に対し、本年度では約1億8千万となり、その予算の伸び率は16.2%の増で大きな財政負担になっております。また、給食費については、一食あたり約800円で、一般産業給食の3倍以上の原価率となっております。これらを改善して効率的で地元の「安心」で「安全」な食材を使い、より豊かな食育が望まれております。このようなゴミ処理、給食の関係の民間委託を考えているのか？

**A** 村長

毎年増加しているゴミ処理の状況下で分別の徹底により、なお一層のゴミ減量化を推進し、ゴミの収集業務については、現在、直営か、民間委託かの対費用効果等を検討させているところであります。学校給食の運営については、厳しい行財政事業をふまえ、一層の合理化・効率化を推進して人件費コストの縮減を図り、給食センター運営委員会が設置されておりますので、今後、委託をしている市町村に情報収集や視察等を行い、十分調

**A** 村長

食堂等営利目的の事業活動には制限がありまして、経営面では厳しいところもありますが、委託先である社会福祉協議会

先で提案ですが、ま



# 消費税免税点改定への対応を

## 子育て保育園改築は「公設民営」で

**Q** 消費税の免税点が3千万円から1千万円に引き下げられ、多くの村民が新たに課税事業者となる。積極的に学習会に取り組むことで、村税務行政への信頼を深めるチャンスにもなります。

消費税は、累進課税の原則に反し、最低限度の生活費にまで課税される等々、最悪の不公平税制だ。消費税は、大企業減税に使われ、福祉には使われなかった。消費税大増税には、キッパリ反対していただきたい。

**A** 村 長

新たに課税者となる推計は、農業者170人、中小企業者60人くらい。学習会には積極的に取り組んでいきたい。法人税を下げるといことが事実であれば、いろいろ申し上げていきたい。

### イラクへの自衛隊派兵に反対を

**Q** 派兵は、無法な侵略戦争と不法な占領支配に、軍事力をもって加担することになり、何の大義もありません。こんな憲法九条をふみにじる歴

史的暴挙を絶対に許すわけにはいきません。占領支配をやめ、国連中心による人道復興支援にきりかえることが道理ある解決の道です。9割を超える国民はもとより、多くの市町村長も反対を明確にしています。反対を表明していただきたい。

**A** 村 長

政府においては、イラク国内の情報を正確に把握し、国益等をふまえ、復興支援のために適切な対応をとるよう強く望むものです。

### 公共施設の「指定管理者制度」

**Q** 法改正により、「公

の施設」の外部「委託制度」が廃止され、「直営

にもどすか、「指定管理者制度」のどちらかを選択しなければなりません。

**A** 村 長

昭和の森は、条例を制定し指定管理者制度を導入していきたい。福祉センターや学童等については、検討していきたい。

### 次世代育成支援「行動計画」策定

**Q** 次世代育成支援対策推進法で「行動計画」策定が義務付けられた。昭

和村の合計特殊出生率、未婚率や平均初婚年齢の推移は。(表1参照)関係者のニーズを把握するため、アンケートや各種団体との懇談会など実施してほしい。

**A** 村 長

16年度末の策定をめざし、対象者のニーズ調査、協議会の設立をすすめていきたい。

### 子育て保育園改築

**Q** 公設でも民設でも、

国県の補助率は同じ、保育料は村収入で、子育ての独自収入は原則なく、すべて村予算からの支出で運営されています。

**A** 村 長

第一保育園とのバランスも考慮し、「公設民営方式」への対応を伺う。

### 市町村合併に 関わる諸問題

**Q** 念願の「自主自立」

が決定されました。自主自立の村づくり推進の決意を伺いたい。

**A** 村 長

住んで良かったと思える地域づくりに頑張りたい。広域行政は、今までと同じように共同歩調を継続していきたい。



林 幸司議員

表1

●合計特殊出生率		●未婚率		●平均初婚年齢	
全 国	1.32	男性69.3%	女性54.0%	夫29.1歳	妻27.4歳
群馬県	1.41	男性66.1%	女性49.7%	夫29.0歳	妻27.1歳
昭和村	1.66	男性72.0%	女性49.7%	夫29.3歳	妻27.7歳

# 議会視察研修報告

議会各常任委員会合同研修は、宮城県、山形県、福島県を視察地とし、平成15年10月21日から23日の3日間で行いました。資源リサイクル、観光農業、合併問題について研修し、おおいに参考となった研修でありました。



10月21日 早朝、朝靄をついて、議会、村長、関係課長を含め総勢22人、明日の村づくりの指針となる関連先進地への視察研修に旅立ちました。

## 民生文教常任委員会 10月21日

宮城県黒川郡大郷町にある廃プラスチック（ポリマルチ）処理再生施設である「日の丸合成樹脂工業株式会社」を訪ねました。現在、ほとんどの使用済み農業用ポリマルチ、ビニール等については焼却、埋め立て処分されています。この施設で

はそういった農業用使用済みプラスチックを再生し再製品化しています。

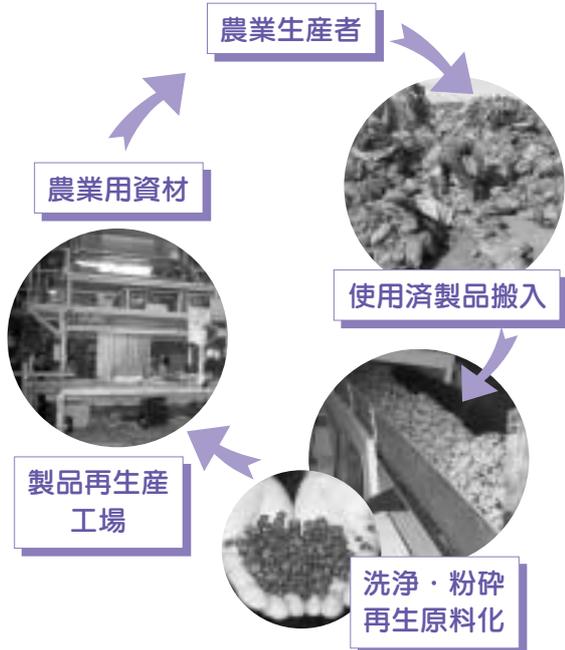
これは、限りある石油資源から生まれた製品を再利用し続けるシステムとしておおいに着目すべきことと思います。

広大な農地、大規模な農業、それに伴い、本村

でも膨大な量の使用済みポリ、ビニールが排出されます。一回限りの使い捨てではなく、何回でも再利用することこそ、まさに理想的なりサイクルであり、そうした施設を近場に作り利用していく必要性を強く感じました。

限りある資源を  
燃やさず、埋めず  
リサイクル!!

### 再成処理方法



農業は観光資源の宝庫

「アイディアと企画力が  
周年観光農業を実現した町」



山形県のほぼ中央に位置する寒河江市は、日本一のサクランボの里として知られており、各種農産物を取り入れて周年観光農業を成功させ、年間30万人以上の観光客を呼び込んでいます。

道の駅、「チエリーランドさがえ」は広大な敷地を有し、観光物産センターを中心にいくつもの観光施設が整備されています。その一角にあるさくらんぼ会館で農協の農業観光課の担当者から、成功までの経過や苦労話をうかがいました。

また、果実の収穫体験や、バラ風呂宅配、米や野菜

を使ったアイスクリームの発売、雪中いちご狩り

等々、四季折々の食の感動を与え、安心安全をモ

ットーとして観光客を迎えているとのこと。

アイディアしだいで農業が立派な観光資源になり

うるということを感じて

ました。しかも、市や農協や生産者組織が一体となつて「寒河江市周年観光農業推進協議会」を立ち上げ、客の受け入れ体制作りと観光拠点建設を推し進め、それまでの生産者や各組織の関係を改善、統一して同市の観光農業発展へと結びつけたのです。それを実現するためにアイディアと企画力をも

って仕掛けた人物がいたということも事実です。

今、昭和村でも取り組みがはじま

っています。農業の観光化事業が生き生きとした村づくりになり大きな力となるよう期待します。

市町村合併問題に関する研修ですが、これまでも、合併を目指す市町村、自立を目指す町とい

くつかの市町村へと研修をしてきました。

今回は「合併しない宣言で一躍全国から注目を集めた町、福島県の矢祭町を研修地としました。

矢祭町は、農業と観光を主とする人口約7千人余の町で、平安中期、源義家が奥州戦争の途中、この地の美景を賞賛し、背負っていた弓矢を岩窟に納めて戦勝報告の祭り

を開き、武運長久を祈ったことから、この名が起ったとされる歴史に高い町と聞きました。

国からの合併推進が叫ばれはじめる中、矢祭町では平成13年10月31日に市町村合併をしない矢祭宣言を議会全員一致で提出されていきました。

研修当日は、全国の市町村から、議会、職員組合等、7つの団体との合同研修となりました。その会場で矢祭町の根本町長は、今後、町づくり総

合計画のもとに財政規模にあつた独立独歩、自立できる町づくりを継続して推進していく考えを示し、町の結束力を大きく感じた研修でありました。



▲さくらんぼ会館内での研修

今、昭和村でも取り組みがはじまっています。農業の観光化事業が生き生きとした村づくりになり大きな力となるよう期待します。



▲根本町長による講演

「市町村合併をしない矢祭町宣言文」(抜粋)

(省略) 地方自治の本旨に基づき、矢祭町議会は国が押しつける市町村合併には賛意をせず、先人から受け継いだ郷土「矢祭町」を21世紀に生きる子孫にそつくり引き継ぐことが、今、この時、ここに生きる私達の使命であり、将来に禍根を残す選択はすべきでない」と判断いたします。

よつて、矢祭町はいかなる市町村とも合併しないことを宣言します。

- 記
1. 矢祭町は今日まで「合併」を前提とした町づくりはしてきておらず、独立独歩「自立できる町づくり」を推進する。
  2. 矢祭町は規模の拡大は望まず、大領土主義は決して町民の幸福にはつながらず、現状をもって維持し、木目細かな行政を推進する。
  3. 矢祭町は地理的にも辺境にあり、合併のもたらすマイナス点である地域間格差をもるに受け、過疎化が更に進むことは間違いない、そのような事態は避けねばならない。
  4. 矢祭町における「昭和の大合併」騒動は、血の雨が降り、お互いが離反し、40年過ぎた今日でも、その痕は解決しておらず、二度とその轍を踏んではならない。
  5. 矢祭町は地域ではぐくんできた独自の歴史・文化・伝統を守り、21世紀に残れる町づくりを推進する。
  6. 矢祭町は、常に爪に火をともし思いで行財政の効率化に努力してきたが、更に自主財源の確保は勿論のこと、地方交付税についても、憲法で保障された地方自治の発展のための財源保障制度であり、その堅持に努める。

以上宣言する。  
平成13年10月31日 福島県東白川郡矢祭町議会





## みなさんからの請願・陳情



自 平成15年8月18日 至 平成15年12月4日

受理番号	受理年月日	件名	陳情者の住所・氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
47	H15.8.18	生越清水地区内の消火栓整備等を求める陳情書	生越区長 林 正行 ほか1名		総務	採 択
53	H15.10.24	大河原小学校区内に昭和村学童クラブの設置についてのお願	大河原小学校PTA 会長 江田 和良		民文	採 択
54	H15.11.10	村道天神上阿曾線4号橋及び、村道下阿曾天神線天神沢5号橋の拡幅工事のお願いについて	宿区長 加藤 武男 ほか4名	小野 一男	産建	採 択
55	H15.11.27	安全対策に対する要望書	昭和村PTA連絡協議会 会長 江田 和良		総務 産建	採 択
56	H15.11.27	鎌沢地区、東京電力(株)伏田発電所導水路下の斜面湧水の調査及び防災対策工事の実施について	鎌沢区長 布施 廣一 ほか5名	澤浦 譽由 保坂 初次	産建	採 択
57	H15.12.2	村道宮田宮原線道路拡幅工事のお願いについて	田岸区長 中川貞次 ほか3名	横坂 幸也 林 幸司	産建	採 択
58	H15.12.3	介護保険制度の充実を求める請願	くらしと福祉・教育の充実を 求める利根沼田実行委員会 代表委員 木村朝次郎 ほか3名	林 幸司	民文	採 択
59	H15.12.3	中小業者の営業と生活を守り、地域経済振興をはかる請願	くらしと福祉・教育の充実を 求める利根沼田実行委員会 代表委員 木村朝次郎 ほか1名	林 幸司	産建	趣旨採択
60	H15.12.3	義務教育費国庫負担金の「定額化」「交付金化」ではなく義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書	くらしと福祉・教育の充実を 求める利根沼田実行委員会 代表委員 木村朝次郎 ほか1名	林 幸司	民文	趣旨採択
61	H15.12.3	04年年金制度改定に反対し、全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書	全日本年金者組合群馬県本 部執行委員長 関口 昭三 ほか1名	林 幸司	民文	継 続



第一保育園保護者会長

金子 幸雄さん  
(常木 37歳)

第一保育園改築におきましては、私たち保護者会の皆さんの要望を理解いただき、本当にありがとうございます。今は来年三月の完成を、子ども達と一緒に楽しみにしています。現在の保育の特徴としては、長い年月そして長時間保育園にあずけるようになりまして、そついったニーズにいち早く応えてもらい、〇



第二保育園保護者会長

佐々木 淳さん  
(松之本第二 39歳)

早いもので保護者会長を受けてから9ヶ月が経ち残りわずかとなりました。上の娘から合わせて5年間、第二保育園にお世話になり、感謝の気持ちと保育園との付き合いがあとわずかになり、少し淋しい気持ちがあります。第二保育園の役員を2年間務めてみて、役員になる前にはわからなかつ

ーズに伝えていくことができるようになります。保護者会も子ども達にとつてより楽しい保育園になるよう、手助けしていきたいと思えます。

「今日はお散歩にいったの。」「今日はお芋ほりにいったの。」「と、保育園であったことを毎日教えてくれます。こんな時は子どもにとつて楽しい一日だったんだな、と報告が終わるまで聞くことにしています。



方にも「いろいろな考え方があったなあ。」と考えさせられました。今までは私たち夫婦二人ではわからなかつたことや、気づかなかつたことなど、いろいろと勉強になりました。

今、昭和村も子どもの数が減り、子どもに対する接し方も変化してしますがいつの時代も子どもは大切な宝です。

これからも、子ども達が幸せな保育園生活を送れることを望みます。



子育て保育園保護者会長

綿貫 利彦さん  
(鎌沢 41歳)

昨年は、私なりに子どもを中心と考え行動する事の多かつた年でした。村づくり委員活動の中で関屋工業団地内に「子供達と大人達で人と土にふれ合いながらきれいな花畑を作ろう」という案が出来ました。多くの方の善意と奉仕を頂いて蒔かれたその花の種が芽を出しやすく生育し色とりどりの花を見事に咲かせました。その一方見えないところで地味に働いてくれた敢えて無名

の方(行政を含む)がたくさんいました。損得抜きは無償の愛がなければ荒地をきれいな花畑に創り変える事は出来なかつたのです。

私は「子宝」という言葉が大好きです。理由なく子どもは全て可愛いのです。私達に元気をくれるのはその輝くような笑顔です。そして昭和村の未来を託すのはこの子宝たちです。今必要なのは過保護に育てる事ではなくこの子供達が他人に迷惑をかけずに、楽しく逞しく生きていけるように育てる事なのだと思います。外で遊んで多少けがをして血を出したほうがいいとも感じています。

子供は注意深く見ています、大人は自己責任を持ち一生懸命な姿を見せて行く事で彼らにも自分にも良い影響を与えられると信じています。また、子育て保育園も建て替えの時期となり園長先生を中心に如何すれば村の子宝たちに良い環境を創れるか思案中です。子育ては保護者だけでなく地域の方々のお力が必要です。是非ご指導の程お願いいたします。



老きたい・知りたい  
みんなの声

昭和村は自主自立を村として決断したのですから、村政も村民も心ひとつにして大人も子供も元気いっぱい村に生まれ変われば最高です。私達も出来る事は前向きに協力し協働して行く事が今後の村づくりに対して重要かつ生産的だと思っています。

最後に議会に希望する事は、今後益々村民の為に頑張つて活動して頂いて、「群馬県下でも良い意味で一際目立った自治体になって欲しい」ということです。

# 議会に臨む



昭和村商工会長  
石井 敬治 さん  
(上内出 58歳)

村民の皆さん、又村長さん、議員の皆様には日頃より商工会活動に大変ご理解をいただき、誠にありがとうございました。誠にありがとうございます。平成5年頃より始まりました平成の大不況、いまだに先が見えない現状の中、私ども商工会も委員の皆様方に、この危機をいかに突破していただくか、事務局の人達と一丸となって頑張っているところでございます。

市町村合併の問題にいたしましては、12月議会において昭和村は自主自立で行くという事が決まったようでございます。私も9市町村の任意合併協議会の時は第4号委員

として会議に出席させていただいておりました。各市町村の委員の皆さんからも、いろいろな意見が出ておりましたが、自分たち市町村の将来を決める大事な問題でありますので、村長さん、議員さんも、いろいろ研究又、勉強なされ昭和村の自立路線を決断されたのだと思います。決断されるまでの日々心痛察するところでございます。

近頃、テレビや新聞等では幼い我が子を虐待して死なせてしまったとか、強盗殺人など凶悪犯罪が毎日のように取りざたされております。景気の悪さの影響なのか、乱世とも言える時代を迎えた今、自分の身は自分で守るといった時代は絶対につくってはいけないと思います。

大人の私たちが、子どもの教育を、今一度基本に戻って考え直し、こうした時代をつくった自分たちも反省し、考え直さなければいけないのではないのでしょうか。これ以上負の遺産を後世に絶対に残してはならないからです。

昭和村も自立で行くには村民そろって後継者を育成し、思いやりのある村づくりをすることが、これからの昭和村の生きる道であり、発展させる原点であると考えているひとりでございます。

「国民が痛みを分け合つてこの危機を乗り越えよう。」というのであれば国会を司る議員自ら改革をし、減員減俸もして見本を示してくれたらこれほど自治体が悩み、混乱はなかったであろうが、

松二郎記

## 議会のうごき

### 10月

- 5日 昭和の秋まつり
- 6日 正副議長・正副委員長・事務局長会議
- 7日 村民チャリティーゴルフ大会
- 9日 市町村合併問題対策特別委員会
- 12日 第41回利根郡民体育大会
- 16日 北海道中川町議会が本村を視察訪問
- 19日 昭和村チャリティー舞踊発表会
- 21日~23日 三常任委員会合同研修(東北方面)

### 11月

- 3日 村民バレーボール大会
- 11日 議会広報研修会
- 12日 トラクター盗難防止パトロール開始
- 14日 村内道路愛護巡視
- 18日 宮崎県北郷町議会が本村を視察訪問
- 19日 北群馬郡子持村議会が本村を視察訪問
- 20日 議会全員協議会
- 20日 第47回全国町村議会議長全国大会
- 22日 第44回昭和村文化祭
- 26日 議会全員協議会臨時会
- 市町村合併問題対策特別委員会

### 12月

- 2日 村内教育関係施設等巡回調査
- 5日 議会運営委員会
- 市町村合併問題対策特別委員会
- 10日~15日 12月定例会
- 22日 議会広報編集特別委員会
- 産業建設常任委員会



編集室から